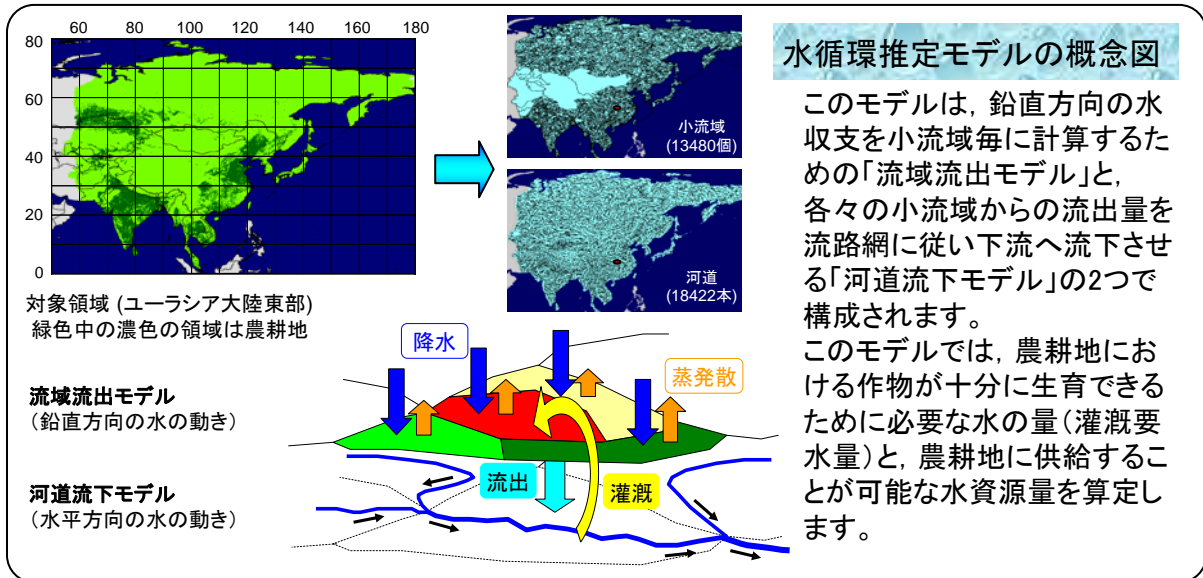


# 農業水利用を考慮した新しい大陸スケールの水循環モデルの開発

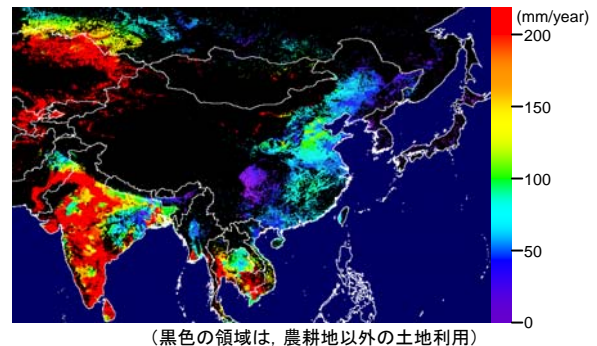
大気環境研究領域 石郷岡康史

農業における安定かつ持続可能な水利用を目指して、農業における水の需要量と、農業に供給可能な水資源量との関係を、大陸スケールで評価できる水循環モデルを開発しました。



## 農耕地における灌漑要水量の分布(1961-1990年の累年平均値)

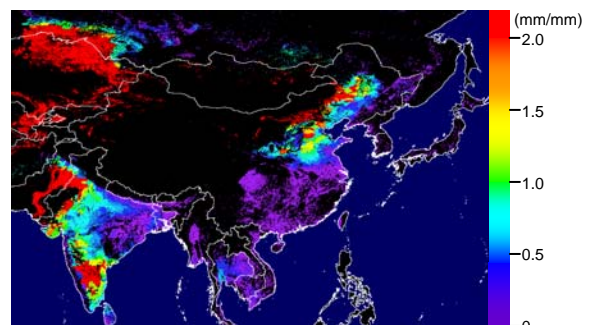
値が高い地域では、作物を水ストレスなく生育させるために、多量の水を供給する必要があります。乾燥地域である中央アジアやインド西部などでは、値が非常に高くなっています。



(黒色の領域は、農耕地以外の土地利用)

## 農耕地における灌漑要水量と利用可能水資源量の比の分布 (1961-1990年の累年平均値)

農業における水の需給関係を表しています。この値が1を超える地域では、作物の生育に必要な最低限の水が、その地域に存在する水資源のみではまかなえないことになります。



(黒色の領域は、農耕地以外の土地利用)

開発した水循環モデルは、食料の安定供給や環境保全のための水利用技術開発・政策決定に役立ちます。